



Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	女38
----------	-----

年月日	2023 年 3 月 28 日 (火)
大会名	令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

## 公 式 記 録 用 紙

A	昭和学院高等学校										白梅学園高等学校										B
都道府県 岐阜県		市町村 岐阜市				会場 岐阜メモリアルセンター で愛ドームAコート										回戦 準決勝					
前半	A 12	B 11	最終 結果	A 20	B 23	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m追加 コラット	A	B							
7m得点/総数		A 4/4		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 1/1		7m得点/総数									
		1	2 後	3				1	2 後	3											
		29	13	04	27	27	01				14	34	11	40							

No.	昭和学院	G	W	2'	D	DR	No.	白梅学園	G	W	2'	D	DR
1	関口華恋						1	石黒櫻子					
2	赤橋愛未	1					2	佐茂春陽	3		2		
3	荒井七香						3	福田舞希	3				
4	杉山日菜						4	木尾珠里奈	7				
5	吉田心	2					5	井上咲稀	2		1		
6	星野友利	1					6	長谷川凜	3				
7	加藤真央	4					7	山田くるみ					
8	中村真心	8					8	南夢乃					
9	齋藤史歩	2					9	渡井花音					
10	倉持愛泉	2					10	熊谷悠帆					
11	横山莉子						11	高野ひなた					
12 C	堀内雪羽						12	多田陽南子					
13	荒川玲奈						13	篠宮梨心					
14	河野紘依						14	塩釜優衣					
16	高橋美妃						17 C	市橋菜々子	5				
17	小林玲舞												
A	佐藤奏吉						A	須川文敬					
B	浅井大						B	榎本満里奈					
C	町澤凜花						C	田中久樹					
D	田代佳克						D						

A		チーム役員 A 署名	B
---	--	------------	---

特記事項

レフェリー	井上 実奈子	小濱 沙也香		
TD	古川 英樹	各務 宗孝		
MO	永春 文義			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	38	女子 [ ① ]
----------	----	-------------

令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会  
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月28日 (火)		会場	岐阜メモリアルセンター で愛Aコート		
種別	女子		回戦	準決勝		
Aチーム名			Bチーム名			
昭和学院高等学校			白梅学園高等学校			
得点合計	小計	period		小計	得点合計	
20	12	前半		11	23	
	8	後半		12		
		第1延長前半				
		第1延長後半				
		第2延長前半				
		第2延長後半				
		7mTC				
戦評			記載者氏名	奥村 誠		
<p>昭和学院のスローオフで試合は開始。前半、白梅学園の7人攻撃に対し昭和学院は粘り強いディフェンス。昭和学院は白梅学園のミスからエンブティゴールを3得点をあげる。また、No.8中村のロングシュートや白梅の反則から得た7mTC3本を確実に決め試合を優位に進める。一方、白梅学園は2回の退場が出るなどリズムに乗れない。中盤、4点差が開いたところで白梅学園がタイムアウトを申請。その後、昭和学院のミスもあり、白梅学園が徐々にリズムを取り戻す。終盤に入り、No.17市橋のカットインシュート、No.4木尾のミドルシュートなど4連続得点で、昭和学院12対11白梅学園の1点差で前半が終了。後半開始から白梅学園の攻撃の波は止まらず、No.4木尾のロングシュートやNo.17市橋の速攻で13対12と逆転すると、フリースローからも多彩な攻撃を展開し6連続得点でスコアを17対12と突き放す。一方昭和学院は、No.12GK堀内の好セーブもあり、粘り強いディフェンスからNo.7加藤のポストシュート、No.8中村のロングシュートの連続得点で追いかけるが及ばず、23対20の僅差で白梅学園が勝利した。</p>						